

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月17日

協議会名: 阿賀野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名: 阿賀野市	運行系統名: 前山線(700) 京和荘～前山丁字路～阿賀野市役所	路線別時刻表は見やすさを考えて作成し、市のホームページにも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。 GTFSデータ整備によりモバイル端末での乗換案内を可能とした。 75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。 高校生への定期利用券発行と新1年生向けに利用促進パンフレットを配布した。 朝の通勤・通学時間帯において、鉄道への接続するダイヤを確保した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、0.5人で目標を達成できなかった。 高校生の通学利用で卒業等により減少したことが主な要因として考えられる。	・更なる利便性向上を図るため、AIオンデマンドシステムを活用したデマンド運行に移行する。(令和7年度より) ・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。
事業者名: 阿賀野市	運行系統名: 前山線(702) 京和荘～前山丁字路～市野山(ウオロク脇)	路線別時刻表は見やすさを考えて作成し、市のホームページにも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。 GTFSデータ整備によりモバイル端末での乗換案内を可能とした。 75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.8人に対し、7.0人で目標を達成した。 買い物に利用できるダイヤを確保したことが利用者のニーズに合致したと考えられる。	・更なる利便性向上を図るため、AIオンデマンドシステムを活用したデマンド運行に移行する。(令和7年度より) ・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市	運行系統名:前山線(703) ウオロク水原店～前山丁字路 ～京和荘	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイル 端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	A	目標である1回平均6.0人に 対し、7.5人で目標を達成し た。 買い物に利用できるダイヤ を確保したことが利用者の ニーズに合致したと考えら れる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和7年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名:神山線(902) 笹神支所～熊堂、神山駅前～ 阿賀野市役所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイル 端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	C	目標である1回平均9.8人に 対し、9.4人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の通院利用で、身体 的な理由等により減少した ことが主な要因として考えら れる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名:神山線(903) 阿賀野市役所～神山駅前～笹 神支所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイル 端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	A	目標である1回平均4.7人に 対し、5.2人で目標を達成す ることができた。 高齢者の買い物や通院に 利用できるダイヤを確保し たことが利用者のニーズに 合致したと考えられる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市	運行系統名: 神山線(904) 神山駅前～中ノ通～阿賀野市役所	路線別時刻表は見やすさを考えて作成し、市のホームページにも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。 GTFSデータ整備によりモバイル端末での乗換案内を可能とした。 75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.0人に対し、6.2人で目標を達成できなかった。 人口の自然減少のほか、高齢者の用事や通院利用で、身体的な理由等により減少したことが主な要因として考えられる。	・更なる利便性向上を図るため、AIオンデマンドシステムを活用したデマンド運行に移行する。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名: 神山線(901) 阿賀野市役所～中ノ通～笹神支所	路線別時刻表は見やすさを考えて作成し、市のホームページにも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。 GTFSデータ整備によりモバイル端末での乗換案内を可能とした。 75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均5.5人に対し、5.0人で目標を達成できなかった。 人口の自然減少のほか、高齢者の用事や通院利用で、身体的な理由等により減少したことが主な要因として考えられる。	・更なる利便性向上を図るため、AIオンデマンドシステムを活用したデマンド運行に移行する。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名: 神山線(907) 阿賀野市役所～熊堂、中ノ通～笹神支所	路線別時刻表は見やすさを考えて作成し、市のホームページにも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。 GTFSデータ整備によりモバイル端末での乗換案内を可能とした。 75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均6.8人に対し、7.2人で目標を達成することができた。 通学(下校)に利用できるダイヤを確保したことが利用者のニーズに合致したと考えられる。	・更なる利便性向上を図るため、AIオンデマンドシステムを活用したデマンド運行に移行する。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市	運行系統名: 神山線(951) 阿賀野市役所～熊堂、中ノ通、 笹神支所～阿賀野市役所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイ ル端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均4.7人に 対し、3.8人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の用事や通院利用 で、身体的な理由等により 減少したことが主な要因と して考えられる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名: 安田地域循環線 (02AB) 安田支所～下草水～安田支所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイ ル端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均7.8人に 対し、7.4人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の買い物利用で、身 体的な理由等により減少し たことが主な要因として考 えられる。 日帰り入浴施設が休館とな り、その利用者が減少し た。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市	運行系統名:安田地域循環線 (04AB) 安田支所～下草水～安田支所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイ ル端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均4.1人に 対し、3.6人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の買い物利用で、身 体的な理由等により減少し たことが主な要因として考 えられる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。
事業者名:阿賀野市	運行系統名:安田地域循環線 (05AB) 安田公民館～下草水～安田支 所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイ ル端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均2.0人に 対し、1.8人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の買い物利用で、身 体的な理由等により減少し たことが主な要因として考 えられる。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市	運行系統名:安田地域循環線 (22B)(03AB) 横町～下草水～安田支所	路線別時刻表は見やすさを考 えて作成し、市のホームページ にも掲載して周知した。 オリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。 GTFSデータ整備によりモバイ ル端末での乗換案内を可能と した。 75歳以上高齢者の利用料免 除と高齢者運転免許証返納者 への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均6.5人に 対し、5.8人で目標を達成で きなかった。 人口の自然減少のほか、 高齢者の買い物利用で、身 体的な理由等により減少し たことが主な要因として考 えられる。 日帰り入浴施設が休館とな り、その利用者が減少し た。	・更なる利便性向上を図るた め、AIオンデマンドシステムを 活用したデマンド運行に移行す る。(令和8年度より) ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・高校新1年生向け利用促進 パンフレットの配布を行う。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月17日

協議会名:	阿賀野市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを運行し、公共交通網が市内全域に広がっている。 阿賀野市で運行する市営バスは、朝夕は主に学生に利用され、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心に、市内で唯一の総合病院である「あがの市民病院」への通院や日常の買い物、日帰り入浴施設などに利用され、生活に必要な交通となっている。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしている。 しかしながら、平成16年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成21年度をピークに利用者が減少し、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。また、鉄道や民営路線バスを利用しづらい交通空白地もあり、その地域の住民は日常生活を送る上で不便を感じている状況にある。 そのような状況の中で、阿賀野市においては、平成20年度から地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して、阿賀野市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成22・23年度に前山線、神山線、安田地域循環線の試験運行を実施、平成23年度から地域公共交通確保維持事業を活用して市営バスの運行を実施している。 この市営バスの運行は、交通手段が確保されない地区において、公共交通を確保することができるとともに、地域間交通ネットワークにアクセスしているため、交通不便地区の住民が日常生活を送る上で、重要な運行となっているので、今後も確保・維持していく必要がある。